

DYSON

問題解決 WORKSHOP



常識にとらわれないアイデア、あきらめない心、不満を感じる
才能が開く時、本当に価値ある新しいものが生まれる

ダイソンはサイクロン第一号を作るまでに五千を超える試作を行ったそうです。問題を違う角度から捉え直してアイデアを出し試作し、そしてテストする。この何回もこのプロセスをまわりながら本当に意味あるものを追求し続ける。このワークショップはまさにそのようなアイデアをカタチにしていくプロセスを手をつかって感じる事ができるワークショップだったと思います。「自分の中にあるイメージをカタチにしていくことによって、次に出てくる問題や解決策が目前に見えてきてカタチにする楽しさを見つけられた。また身近なところにいるいろいろなアイデアがあることに気づいた」 (参加者) 沼田

3/11(金)

第一部 DC48の分解と組立

第二部 DYSON STORY
発明と諦めない心
完成作品発表

